

校長室だより

No. 37

平成 28 年 2 月 5 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

主体的な子供の動きをつくる教師のはたらき ー図書委員の活動からー



1月の児童会活動で素敵な活動が増えています。上は、2階図書室前の掲示板です。ここは、いつも学校に届く内外の案内やポスターを掲示する場所です。そこが、1月の中旬から上のように様変わりしました。これは、図書委員会の子たちのアイデアによって変わったものです。

1月の図書委員会の時間に、「図書室の来場者数が少ないのではないか」ということが問題になり、話し合った結果、①読み聞かせをする ②ポスターを作る ③本やクイズを紹介する本の道を作る というアイデアが出されたそうです。その後担当の先生に許可を得て、学校の掲示板を借り、「本の道」を作りました。立派なところは、自分たちで学校をよくするアイデアを考え、話し合っって実行しているところです。顧問の成田先生のメモに、次のような記述がありました。

今図書委員会では、なんとか活気のある図書室にしたいと考えています。本の道ということで、2階渡り廊下に本の紹介掲示を貼ろうということになりました。もともとはポスター掲示に使われていたのですが、少し場所をお借りしました。しかし、ポスターも貼るところがほしいとのこと。相談しながら半分ずつ使っていこうと思います。外で遊ぶことも大切ですが、子供達の教室から少し離れている図書室への魅力が高まるよう取り組んでいきたいです。図書室の伝記の本が大変古かったため、新しい本を取り入れました。それをお知らせする掲示にしたら、入場者数が30人増えました。もっと先生方にも図書室を活用していただきたいです。
【1月25日 教師メモ】

「ポスターも貼るところがほしいとのこと。相談しながら・・・」を読むと、教師は願いをもちながらも、子供の思いを前面にして話し合いを進め、主体性をうまく支援してくれていることがわかります。子供も成就感があるはずです。

児童会活動には、学校の中の仕事の一役を担う当番的活動と、創意工夫を凝らして学校を活性化する主体的な活動があります。児童会活動は、教育課程上でいうと、「特別活動」の領域です。学習指導要領の目標にも、次のような記述があります。

特別活動の目標と各活動・学校行事の目標 <児童会活動>

児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

【学習指導要領解説 特別活動より】

今回まさに、話し合いのなかで「望ましい人間関係」がつくられ、「よりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しよう」と「自主的、実践的」

に動いています。特別活動に限らず教科や総合的な学習等でも同じような力が求められています。こうした子供の動きを知り、うれしく思いました。

このほかにも子供の主体性を支援している活動があります。職員がそれぞれの分野で、できる時と場を考え、創意工夫しながらチャレンジしてくれています。

おやゼミに感謝

先日、授業参観の日に行いましたPTA主催の「おやゼミ」では、それぞれ講師を務めていただいた方々が、とてもしっかり準備をされており、びっくりしました。おかげで子供たちが楽しく受講することができました。新聞・MICSにも取り上げていただきました。本当に意義のある会になりました。ありがとうございました。

【東海愛知新聞 一月二十九日】

保護者らが講師に
岡崎市六ツ美中部小「おやゼミ」で交流深める

岡崎市六ツ美中部小「おやゼミ」で、児童らの好学校で二十八日、保護者や学区住民らが趣味や仕事を生かして講師となり、児童らと交流を深める「おやゼミ」が開かれた。

おやゼミは、趣味や仕事で培った経験を講座を通して児童に伝える機会。今年度は、消防団員や看護士、議員といった仕事から、バードウォッチング、サッカーなどの趣味まで幅広い十三講座が設けられた。

全校児童三百三十二人が、それぞれ興味のある講座を受講。運動場では消防団の訓練体験が男子の人気を集めたほか、サッカーやラニングのコツを学んだり、今では珍しい竹馬に乗りたりして汗を流した。

屋内では、各教室で職業に関する説明や語学などの座学を中心とした実施。児童らは、その道に精通した講師による仕事の仕組み、やりがい、苦労といった話に聞き入りながら、普段の授業とは異なる貴重な体験に目を輝かせていた。



消火器を体験する児童ら
岡崎市六ツ美中部小学校で